

新館オープン1周年アルバム

▽県内公共図書館・

公民館図書室等の職員研修会 [6月・7月・9月]

初任者研修会では、埼玉県鶴ヶ島市立中央図書館の大澤正雄館長が「図書館員の資質をみがく」と題して講演。

▽図書館振興のつどい

シンポジウム「まちづくりと図書館」[7月10日]

日本図書館協会町村図書館活動推進委員長・糸賀雅児氏(慶應義塾大学教授)が基調講演。続くシンポジウムでは県内有識者らが図書館のある暮らしについて熱のこもった討論を展開した。



中新田町図書館について語る
前中新田町長・須貝信義氏
(中央)

▽ことばのうみコンサート

『谷川俊太郎さんの詩をきく会』[9月5日]

谷川俊太郎さんが自作の詩を朗読。ステージの子どもたちといっしょに「かっぱ」を読むなど、地形広場ことばのうみに約2,000人の拍手と歓声がこだました。



ことばのうみ
コンサート

▽講演会「みやぎゆかりの先哲たちⅡ」

『斎藤秀三郎と英語辞典』[11月14日]

神奈川大学教授・出来成訓(でき・しげくに)氏が、世界的に著名な英語学者・斎藤秀三郎(1866～1929年)が英語辞書を完成させるまでを講演。関連資料も公開された。

▽『鲁迅作品展』[11月21～28日]

江沢民中国国家主席の仙台訪問にあわせて、『藤野先生』など鲁迅関係の図書約150点をみやぎ資料室で特別展示。

太宰治が若き日の鲁迅を描いた
『惜別』の初版本などを展示



▽『としょかん質問箱』創刊 [12月]

宮城県図書館に寄せられた質問について、回答を導き出すまでの過程と参考資料等を紹介した事例集。

▽読書活動研究集会 [平成11年3月12日]

只野とよさん(小牛田町在住、84歳)の昔ばなしに約150人が聞き入った。続いて富田博氏(おてんとさんの会会長)が「児童文化活動に期待する」と題して講演。午後は各児童文化団体から活動の紹介があった。

DATA

H.10.3.21～11.2.28

[開館から]

入館者数	1,059,679人
登録者数	82,629人
貸出冊数	921,411冊
見学団体数	441団体

図書館ネットワークシステム 利用体験学習に参加して

昨年の夏休み、図書館ネットワークシステム利用体験学習に参加し宮城県図書館に行きました。出発が朝早いということもあって、「めんどくさいね。宮城県図書館は普通の図書館と何が違うの」と、友達と話したりしていました。

しかし、実際に宮城県図書館に到着してみると、想像以上に広くてとてもきれいなことに驚きました。めんどくさいという気持ちはすぐに吹き飛んで、好奇心で一杯になりました。最初に館長さんに館内のことをわかりやすく説明してもらい、普通は入れないところも見せてもらいました。

何よりも私が興味を持ったのは、どこにどんな本があるかを調

べることができるコンピュータがあることでした。職員の人に説明してもらい、私も友達と試しに前から読みたかった本について調べてみたら、とてもくわしく書いてあって、いろいろなことを知ることができ助かりました。

このコンピュータは、私が住む亘理町の図書館にもつながっていて、ネットワークになっているそうです。宮城県図書館は「図書館の図書館」だということがよくわかりました。

この貴重な体験を機会に今まで以上に図書館を利用し、いろいろなことを調べたり、本を読むことをもっともっと好きになろうと思います。

亘理町立亘理中学校1年

萱場 由莉香

